

どんぐり山行通信 赤城山(黒檜山)

第68号

2011年12月19日(土)

曇り

参加者 19名

あかぎやま(くろひやま)(1828m)



途中でバスはチェーンを装着する。この雪で登れるだろうか。バスの中は静まり返っている。うっすらと雪化粧のなかを登山口から登り始める。滑りやすい道をただひたすら登っていく。氷点下何度だろうか。樹氷以外景色は見えない。途中大沼が見える。白黒のモノトーンで湖面は銀色に反射している。途中引き



返そうかと思ったけれどもなんとか11時頃黒檜山の頂上にたどり着く。向かいの地蔵岳が凡庸な山容を見せている以外は展望がない。アイゼンをつけようとする手がかじかんで思うようにいかない。さらさら雪だけれど手袋でさわっていると湿って濡れてくる。綿のズボンの膝も濡れてくるのでカッパのズボンをはく。写真撮影のあと来た道に戻る。下りは滑りやすいと警戒していたが案に相違してスムーズに降りることができた。



1時半に待望の見晴らしの湯に到着。野天風呂は風が強く寒い。冷たい風にさらされていた体がとろけるように温まってくる。今年は地震と雨にたたられて中止もあったが皆無事で何よりだ。前菜、刺身、てんぷら、鍋と豪華な料理にビールで乾杯。忘年会が始まる。

帰り、道の駅で格安の野菜をたっぷりとお土産に買って行く。ほんのちよっぴり見える富士山をはさんで山並がシルエットになって夕陽は沈んでいく。また来年頑張ろう。

(伴記)

